



ほけんだより

令和7年度 7月号

春日つぼみ保育園

体力を奪われやすい季節となりました。園では水遊びも取り入れながら暑さ対策をしています。普段以上に睡眠・食事をしっかり摂り、熱中症や夏バテに気を付けながら過ごしていきましょう。

夏の皮膚トラブル

暑くなると、汗による皮膚トラブルだけではなく、虫さされの痕による皮膚トラブルも多くなります。皮膚バリアが弱い子どもの肌。悪化する前に早目に対処し、常に肌を清潔に保ちましょう☆

とびひ 伝染性軟属腫

- 水ぶくれができるタイプと厚いかさぶたができるタイプがあります。
- 虫刺されのあとを掻き壊し、傷に菌が入ることにより水ぶくれになります。さらに水疱が破れると周囲へ広がる可能性があります。
- 皮膚や手指を清潔に保ち、皮膚を傷つけないことが予防の前提になります。虫刺されや傷口をみつけた場合は皮膚を傷つけないようにケアをしましょう。



みずいぼ 伝染性膿痂疹

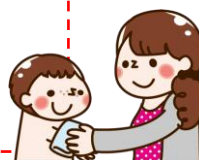
- 潜伏期間
2週間から数か月と言われています。
- いぼがつぶれ、中の液が自分や他人の皮膚の傷や毛穴に接触することで感染します。
- 1年以内に治癒することが多く、早いと6ヵ月、遅いと2~3年程度で治ります。子どもの5~10%に感染します。
- アトピー性皮膚炎や湿疹がある子どもは感染のリスクが高いといわれています。



あせも 汗疹



- 大量の汗をかいた後、汗の通り道である汗管が塞がることで炎症を起こし、皮膚に発疹やかゆみなどが生じる病気です。
- 汗をかいたあとにベタつきが生じ、皮膚にほこりや汚れが付着しやすくなります。それらが汗管を塞いでしまうこともあります。
- 汗をかいた後はそのまま放置するのではなく、濡らしたタオルなどを使って汗とともに皮膚に付着した汚れ（塩分・ほこりなど）を拭き取るように心がけましょう。加えて汗をかいた日はシャワーを浴びて皮膚を清潔に保つことも大切です。



水いぼ・とびひがある場合

当園のプールでの入水はできません。

早目に皮膚科へ相談しましょう。

夏に多い感染症

夏に流行しやすい感染症です。ここ数年は気温が高くなり、季節に関わらず流行しています。手洗い、うがいなどで予防しましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



咽頭結膜熱

(アデノウイルス・プール熱)

高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。

流行性角結膜炎

(はやり目)

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



★いずれの病気も登園許可証が必要になります★